

衣浦鉄道倶楽部の沿革など

1999年に明石公園で有志によりレイアウトを建設し活動を始めた衣浦鉄道倶楽部は、2007年に期限経過により明石公園から立ち退きとなり、倶楽部は活動拠点であるレイアウトを失いました。

会員はその後も会を継続することを決定し、仮設レイアウトでの運転会や、模型の展示会などの活動をおこなってきました。

しかし、思うように活動がおこなえない等活動の沈滞化から2012年4月で解散することになりました。

解散はしましたが、有志を募り衣浦鉄道倶楽部として倶楽部を再スタートさせようと思います。再スタートすることで、倶楽部が消滅することへの寂しさや、仲間のつながりが希薄になることへの危惧、また、新たにこの趣味を始めようとする人のこの地域での受け皿が無くなる状態を回避したいと思います。

新しい会の発足に際しては、倶楽部に規約というルールを設定し、会の性格を明確にしたうえで有志を募ろうと思います。

再スタートしたこの会の存在が同好者同士の親睦を深め、仲間の輪が広がることにつながれば良いと思います。

活動精神

会の沿革からわかるとおり、新たなこの会は同好者同士のつながりを保つための会にしようと思います。したがって会の活動にあたっては、会員が自ら発案・企画し、賛同者の協力を得ながら会員相互が自発的に自己責任で活動を実行することを基本にしようと思います。

活動ビジョン

もともとこの遊びは個人的なもので、他人と比較したり競い合ったりするものではなく、また他人の趣味、趣向を批判する性格のものではありません。ですが、一人で遊ぶより大勢で遊ぶほうがより楽しくラクになります。また、その活動は個人的な遊びを自分の楽しみのためにやることなので、本来すべて自己負担、自己責任があたりまえだと思います。

いつ、どこで、どのように遊ぶかは個人の発想で決めるもので、与えられたり、押し付けられるものではありません。

この会はこうした遊びの原則を保ち、大勢の人が気持ちよく遊ぶことを目標にします。

活動精神にある会員の自発的な活動とは、例えばAさんがBさんのレイアウトを借用して運転したい場合は、Aさんが直接Bさんに相談して決め、この場合ほかのどれだけの会員に声をかけるかはその時の当事者同士の裁量によります。

また、仮設レイアウトでの運転会を行おうと考えたら、企画をまとめて賛同者を募り相互に連絡相談して実行します。

また、AさんがBさん宅にお邪魔してコミュニケーションを図ることも活動の一環です。あちこちの運転会に複数で、あるいは単独で参加することももちろん活動です。その活動が衣浦鉄道倶楽部の会員としての活動であるか、そうでないかはその人自身の意識の中にあるだけです。

会員の活動に対して会としての関与はほとんどありません。

それでは会員になる意味やメリットはなんでしょうか。それは、さまざまなジャンルの鉄道模型趣味人からの刺激を受けることができることだと思います。

かつてのこの会のゲージの豊富さは他の倶楽部を寄せ付けませんでした。動力源でもバッテリー、発電機、蒸気、レシプロエンジン、ジェットエンジンがあり、またスタイルもスケールありフリーありと実にバラエティーに富んでいます。こんな会は全国的にもまずなかったと思います。

この、「いろんなことをやっている人が集まっている。」というのがかつての会の特徴で、この特徴を今後もこの会がめざす方向とします。特徴的でユニークな多くの会員が相互に刺激を与え合うことで、自身の趣味の内容が充実し、成長や発展に大きな影響を与え、ひいてはこれが超楽しいにつながると思います。

以上の活動精神や活動ビジョンなどをルール化したものを会の規約としていこうと思います。